

国立天文台・天文情報センター・アーカイブ室 中桐正夫

* AFUカメラ、法月技研より到着

堂平観測所閉所の際、観測所にあったソ連製の人工衛星追跡用 AFU カメラが法月技研に託されていた。NASA から提供されていたベーカナンカメラは姫路科学館に譲渡されており、国立天文台に返りようもない。そこで、法月技研での AFU カメラの役目が終わっているなら、国立天文台にお譲りいただけないかと社長さんをお願いしたところ、こころよくお譲りいただけることになった。

今日、6月24日、その荷物が到着した。14個の箱に詰められた荷物はそれぞれ非常に重かったが、動員した人数で30分を要しないでPMCの望遠鏡床に運びこむことができた。写真1は運び込まれた木箱の山、それらの箱にはロシア語の文字が見える(写真2)。

この荷降ろし、運び込み作業を手伝ってくださった方々は、佐藤英男、小池、片山、中根、佐々木、西山、田村、中島の諸氏であった(写真3)。

今後、この木箱を開けて、カメラを組む作業が楽しみである。乞う、ご期待。



写真 1



写真 2



写真 3

写真3に見られるように、梅雨空の晴れ間、汗だくになった面々である。

近いうちに、水沢 VERA 観測所からナルミマイクロフォトメーター、写真濃度測定器などが届く。この搬入の下見に日通が今日やってくる。またお力をお借りするかもしれない。ご協力をお願いします。本日はお力添え、ありがとうございました。